

Financial Highlights

2023 Fiscal Year 2Q

Aug.2023

株式会社スタメン 証券コード: 4019

2023年12月期 第2四半期 決算説明資料





INDEX

2023年12月期 第2四半期実績	02
従業員エンゲージメント事業 [TUNAG]	13
コミュニティエンゲージメント事業 [FANTS]	16
2023年12月期 業績見通し	20
補足資料	23

2023年12月期

第2四半期実績

TUNAGの利用企業数、平均MRRともに安定的な成長を継続。
FANTSは平均MRRが前年同期比で大きく増加。

TUNAGの利用企業数^{※1}

651社

前年同期末 483社

TUNAGの平均MRR^{※1}

185千円

前年同期末 177千円

TUNAGの売上高ストック比率^{※2}

92.7%

前年同期 94.8%

FANTSの運営コミュニティ件数^{※1}

130件

前年同期末 131件

FANTSの平均MRR^{※1}

96千円

前年同期末 52千円

FANTSの売上高ストック比率^{※2}

56.7%

前年同期 70.0%

※1：TUNAG / FANTS の利用企業数、運営コミュニティ件数、平均MRRは、各四半期末時点の実績を記載しております。またFANTSの平均MRRは、コミュニティ内で販売したグッズ収益や開催したイベント収益を除いて算出しています。
※2：TUNAG / FANTS の売上高ストック比率は、期末時点のものではなく、四半期の累計実績を記載しております。

当四半期は、テレビCMや展示会出展などのプロモーション活動を積極的にを行い、事業成長性の着実な強化を推進中。



TUNAG利用企業数が過去最高の伸び幅で着地

前四半期に実施したテレビCMの放映や、大型展示会への出展などが奏功し、TUNAG利用企業数が着実に増加。

前年同期比+168社、前四半期比+46社で、ともに過去最大の増加幅となった。

テレビCMの放映や展示会出展など露出を強化

前四半期の静岡エリアでの実施に引き続き、当四半期も福岡エリアにてテレビCMを放映。テレビCM以外にも、東京エリアではタクシー広告を積極展開。大型展示会にも複数出展するなど、認知獲得とリード獲得の双方に投資。



50

Technology Fast 50
2022 Japan **WINNER**
Deloitte.

Fast 50 3年連続3度目の受賞^{※1}

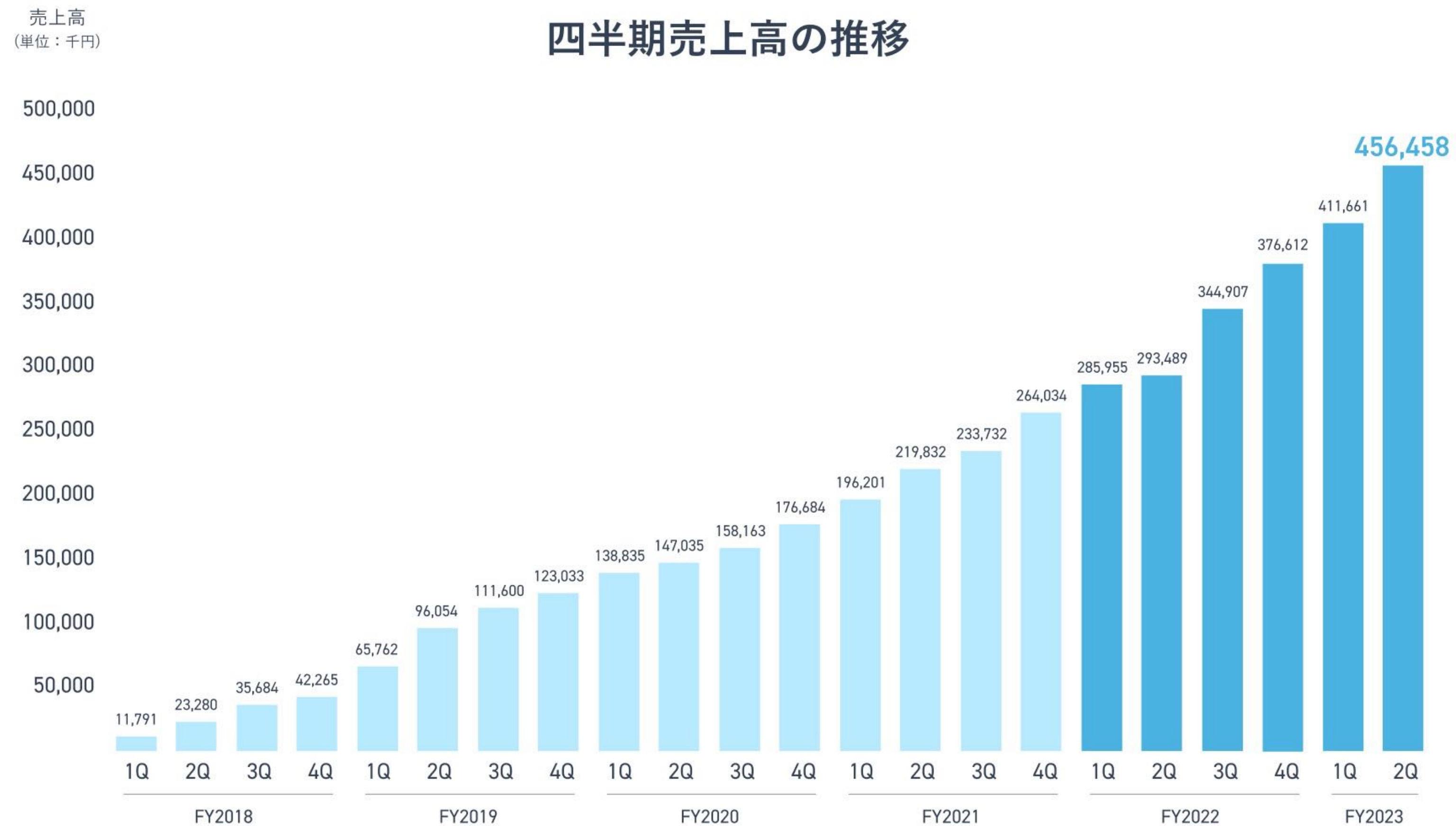
デロイト トーマツ グループが発表した、「Technology Fast 50 2022 Japan」において、過去3決算期の収益（売上高）に基づく成長率130.5%を記録し、50位中21位。3年連続3度目の受賞となる。

※1：プログラムの詳細は、<http://www.deloitte.com/jp/fast50>をご覧ください。

前四半期に続き、売上高、売上総利益ともに前年同期比で増収増益。
利益率に関しては、テレビCMや展示会出展などに投資した影響により減少。

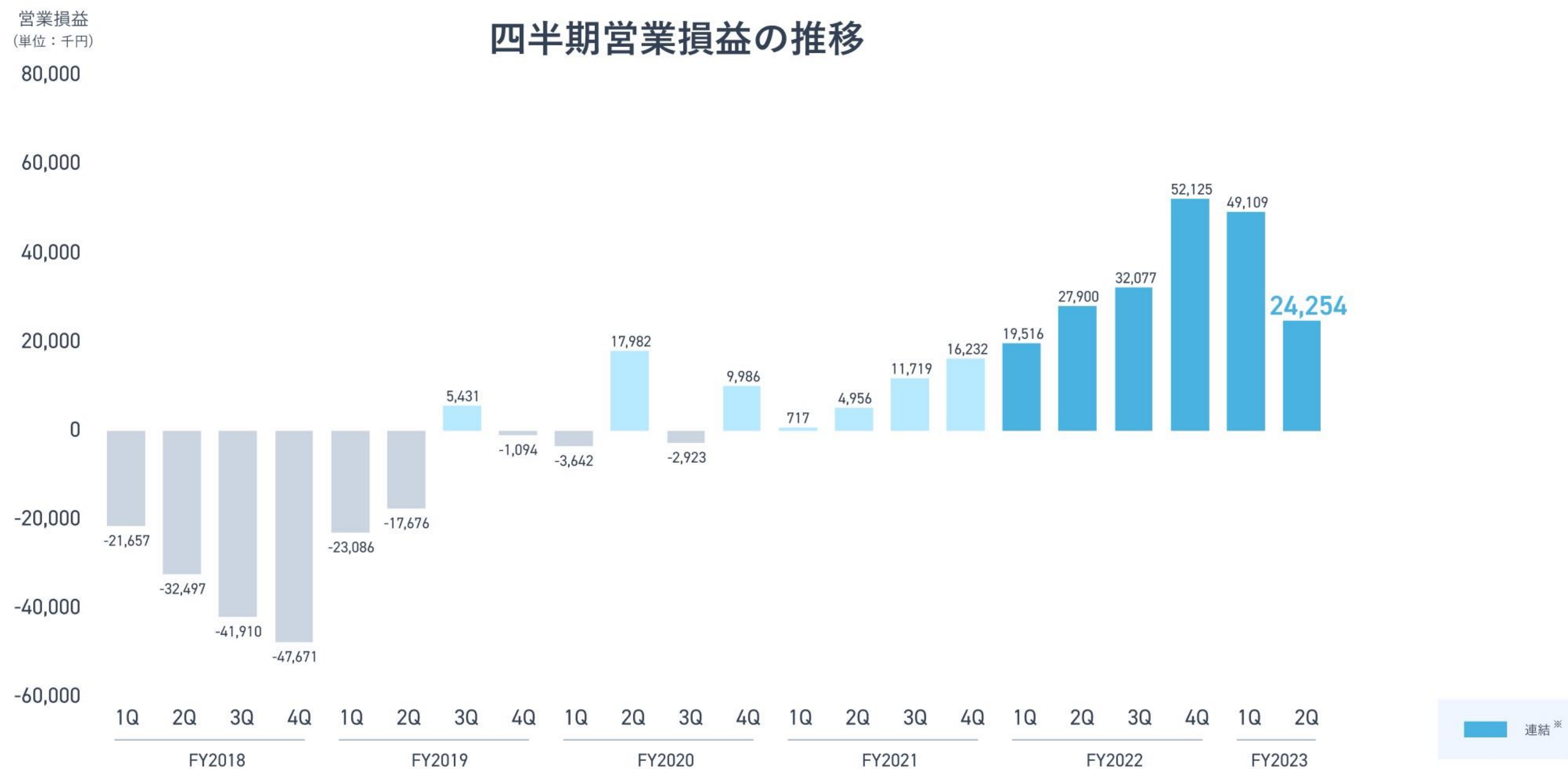
期 (百万円)	2022/12期 2Q (前年同期)	2023/12期 1Q (前四半期)	2023/12期 2Q (当四半期)	前年同期比	前四半期比
売上高	293	411	456	55.5%	10.9%
売上総利益	231	324	349	51.5%	7.8%
利益率	78.7%	78.9%	76.7%	-2.1 pt	-2.2pt
営業利益	27	49	24	-13.1%	-50.6%
利益率	9.5%	11.9%	5.3%	-4.2pt	-6.6pt
経常利益	27	49	22	-17.0%	-53.5%
当期純利益	19	38	17	-7.5%	-54.0%

前年同期と異なり、当四半期は一時的な鈍化もなく、前四半期に引き続き、
着実に売上高が伸長。計画比を上回るペースでの増収が続く。



※連結対象：FY2022 1Qより株式会社STAGE、FY2023 1Qより株式会社スタジアム

テレビCMや大型の展示会出展などの成長投資を継続しながらも、前四半期に引き続き黒字を継続。段階利益についても計画を上回る進捗。



自己資本比率66%、流動比率273%と高水準を続けており、
安定した財務基盤を維持。

(百万円)	2022/12 期末	2023/12 第2四半期末	増減額
流動資産	1,274	1,386	112
固定資産	259	269	10
資産合計	1,533	1,656	123
流動負債	462	508	45
固定負債	39	31	-8
負債合計	501	539	37
株主資本	1,016	1,095	78
純資産合計	1,031	1,117	85
負債純資産合計	1,533	1,656	123
自己資本比率	66.3%	66.1%	-0.2pt

複数地域・複数媒体で、認知獲得広告を展開。
以前から主要な顧客獲得経路である、大型展示会に積極的に出展。

テレビCM



公開地域 福岡

公開期間 2023年5月

タクシー広告



公開地域 東京

公開期間 2023年5月～2023年6月

109フォーラムビジョン



公開地域 東京

公開期間 2023年8月～2024年7月

大型展示会



名称 HR EXPO / リテールテック大阪

会期 2023年5月10日～12日 / 2023年7月20日～21日

継続的なメディアアプローチの結果、数多くの掲載を獲得。

主な掲載実績

新聞

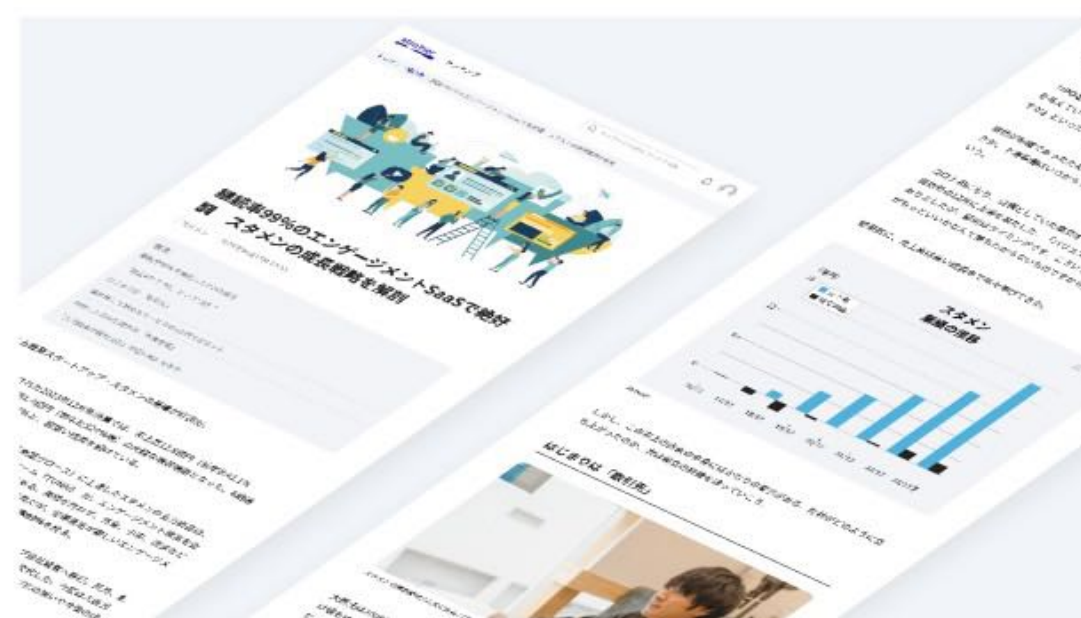


日本経済新聞

2023年12月期増収率見通し^{※1}

売上高300億円以下の中堅上場企業「NEXT Company」を対象にした2023年12月期の増収率見通しランキングにおいて12位にランクイン。

経済メディア



strainer

スタメンの成長戦略を大解剖^{※2}

Webの経済メディア「strainer」で、創業から上場までの変遷や、上場から2022年12月期決算まで取材いただき、掲載。

テレビ



めざましテレビ

新卒採用手法『素顔採用』^{※3}

2024年卒向けに、通常の選考フローに加え、SNSを活用した採用手法である「素顔採用」を企画・実施。フジテレビ系列の「めざましテレビ」にて放映。



メーテレ

業務改善推進PJ『スタラボ』^{※4}

ChatGPTをはじめとする生成AIなどの最新技術を用いた業務改善推進プロジェクトの様子を名古屋テレビの情報番組「アップ!」にて放映。

※1 : <https://www.nikkei.com/article/DGKKZ069603860W3A320C2TLB000/>

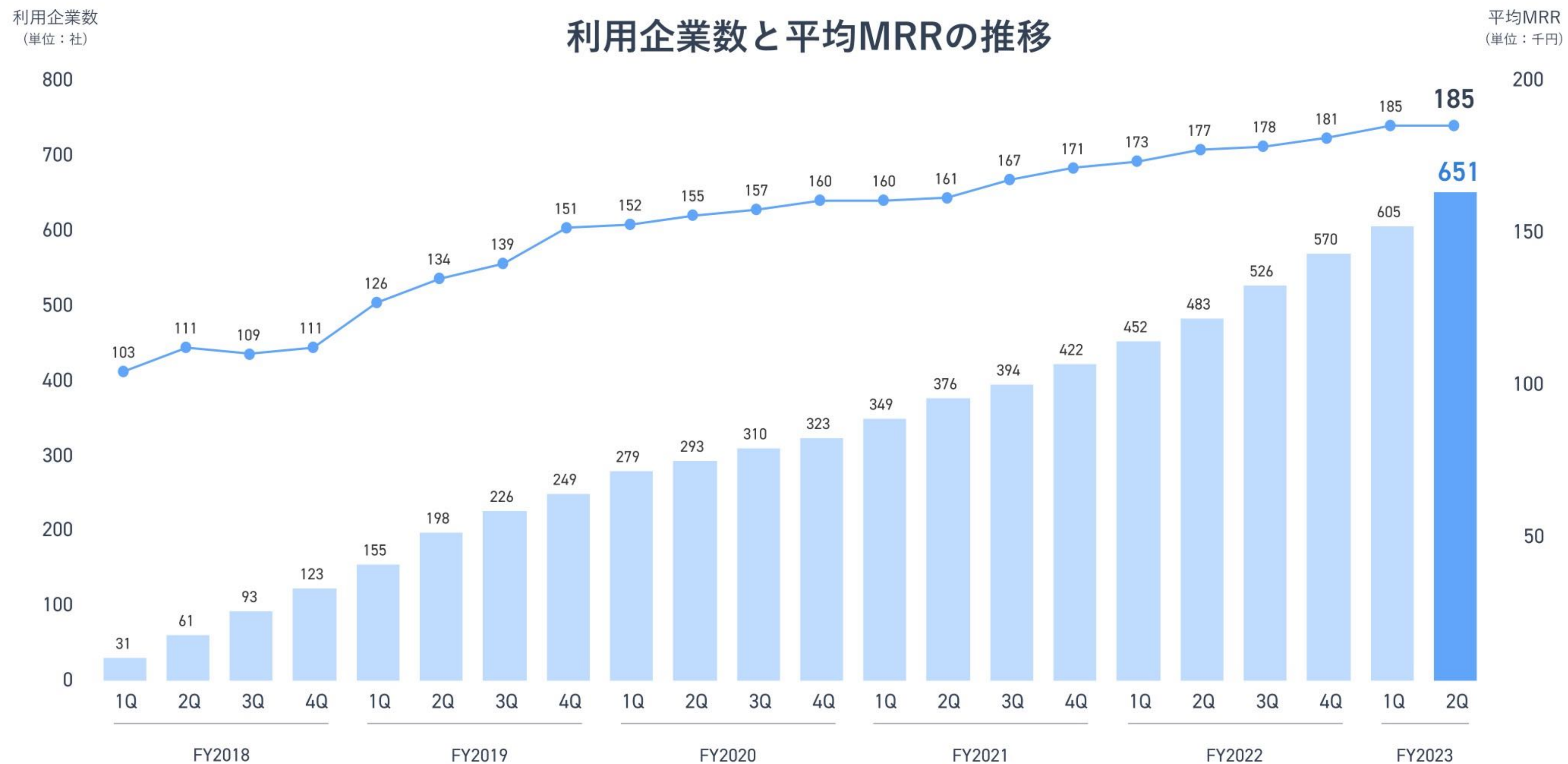
※2 : <https://strainer.jp/notes/7844>

※3 : <https://stmn.co.jp/content/pr/11494>

※4 : <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000105.000023589.html>

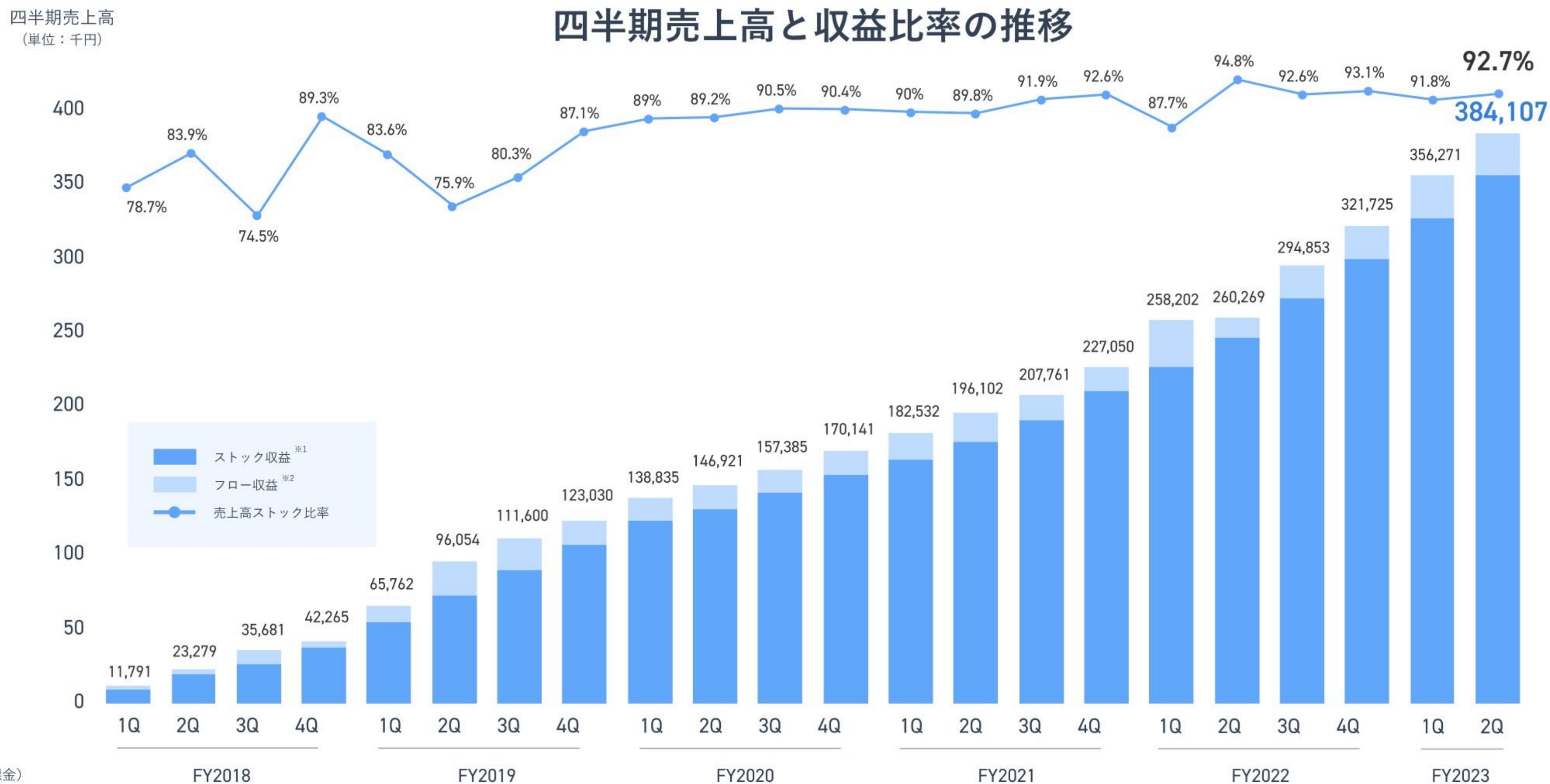
従業員エンゲージメント事業 (TUNAG)

平均MRRは横ばいながらも、利用企業数に関しては、
前年同期比+168社、前四半期比+46社で、ともに過去最大の増加幅。



※上記図表に記載の数値は、各四半期末時点のものを記載しております。

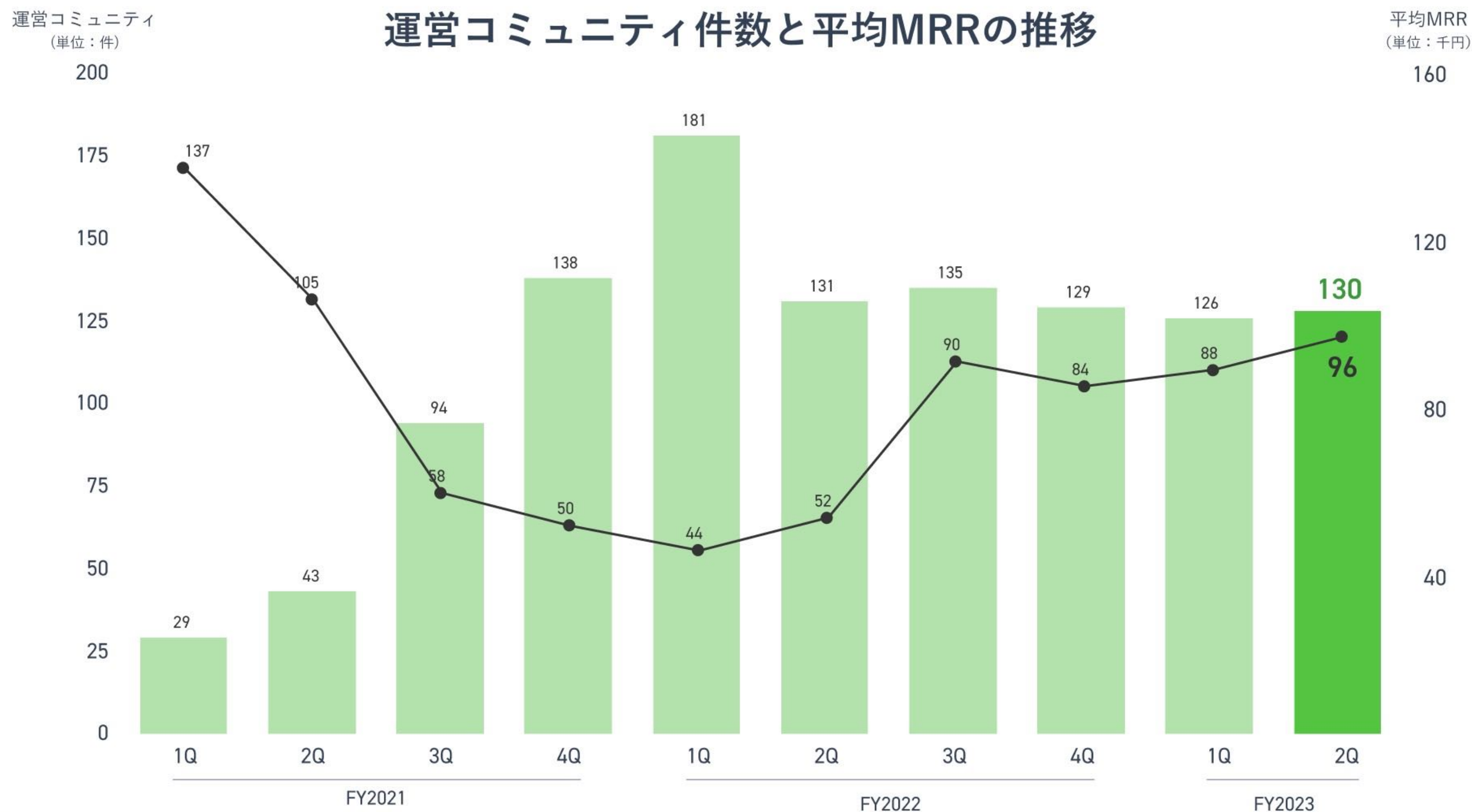
売上高ストック比率は92.7%の高水準を継続。
引き続き、ストック収益を積み重ねることで強固な収益基盤を堅持する。



※1：TUNAGのシステム利用料（月額課金）
※2：TUNAGの初期費用

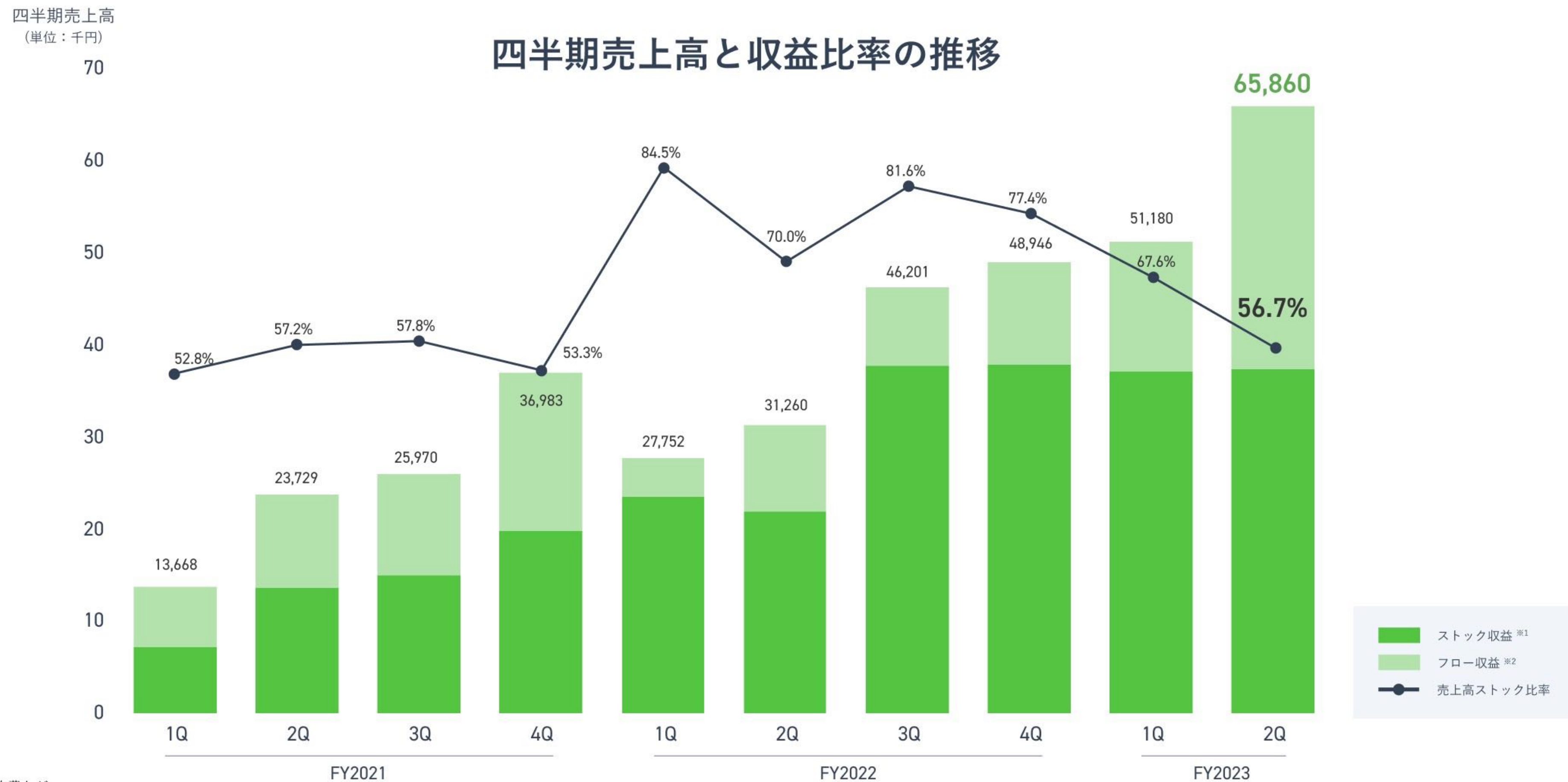
コミュニティ
エンゲージメント事業
(FANTS)

引き続き、大型コミュニティの開拓に注力。 獲得したコミュニティの開設が進み、件数・平均MRRの両指標が伸長。



※上記図表に記載の数値は、各四半期末時点のものを記載しております。

運営コミュニティでのイベント売上計上により、フロー収益が増加。
 当面はストック収益・フロー収益の両面からトップラインの引き上げを狙う。



※1：FANTSのシステム利用料（月額課金）

※2：FANTSの初期費用、プロモーションサイト制作費など

多様化するオンラインコミュニティのニーズに応えられるように、 プロダクトとサポートの両面をアップデート。



運営コミュニティの多様化

サービスリリースから3周年を迎え、様々なコミュニティのオンラインプラットフォームとして採用されている。スポーツチームやタレントのファンコミュニティ以外にも、企業が自社サービスの利用者向けにコミュニティを開設する例も増加中。



プロデュースプランを新設

平均MRRの引き上げを狙い、従来のプラットフォームの提供に加えて、プロデュース体制を強化。オンラインコミュニティ運営全般のサポートから、オフラインイベントの企画運営などサービスのカバー範囲を拡大中。芸能事務所ボンド所属のタレントの王林ファンのコミュニティ「王林王国」も5月に開始。



クラウドファンディングサービスのリリースを予定

オンラインコミュニティプラットフォームを提供する中で、かねてからご要望をいただいていた、クラウドファンディングサービスを秋頃にリリース予定。オンラインコミュニティの開設時の広報戦略や、オンラインコミュニティ内で企画・実施されたプロジェクトでの利用を想定している。

2023年12月期

業績見通し

上期の実績としては売上高、各段階利益ともに上振れの形で着地。
各段階利益の上期進捗率が200%を超えたが、通期では計画範囲内での着地を想定。

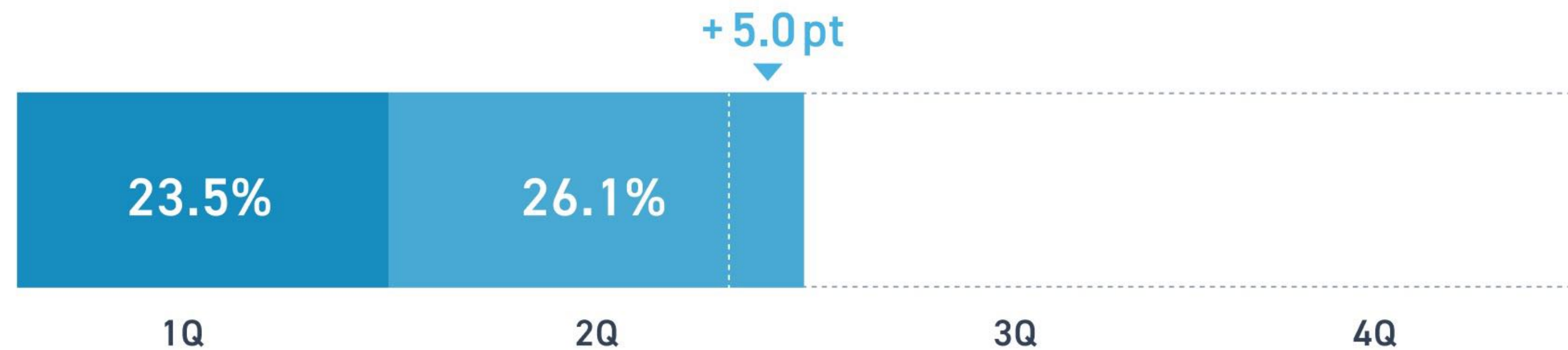
(百万円)	FY2023 (業績見通し)			FY2023 (実績)		
	上期予想	下期予想	通期予想	上期実績	上期進捗率	通期進捗率
売上高	806	944	1,750	868	107.7%	49.6%
営業利益	28	122	150	73	262.0%	48.9%
経営利益	28	122	150	72	257.4%	48.0%
当期純利益	14※	108※	122※	56※	405.8%	46.6%

※当期純利益の算定にあたって、法人税等は税引前当期(四半期)純利益に対する税効果会計適用後の見積実効税率を乗じて見積計上しております。

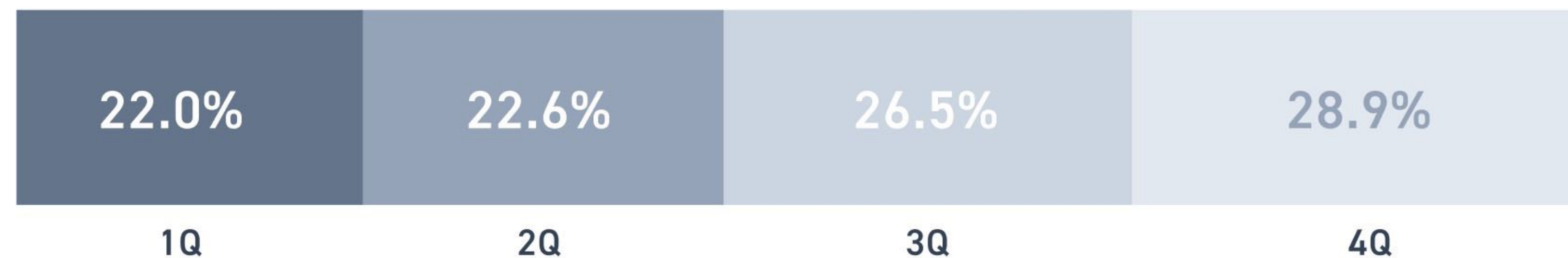
法人税等には税効果会計の影響を加味して算定しておりますが、実績の業績動向に基づく繰延税金資産の回収可能性の見直しによって、実際に計上される金額と予想数値と異なる場合があります。これにより、当期純利益の実績金額が変動する可能性があります。

当社はSaaSビジネスをメイン事業としており、例年、第3・第4四半期の寄与度が大きい。
 上期までの予算進捗 49.6% は、昨年度の進捗 44.6% を上回るペース。

FY2023 通期業績見通し 1,750百万円



FY2022 通期業績 1,300百万円



補足資料

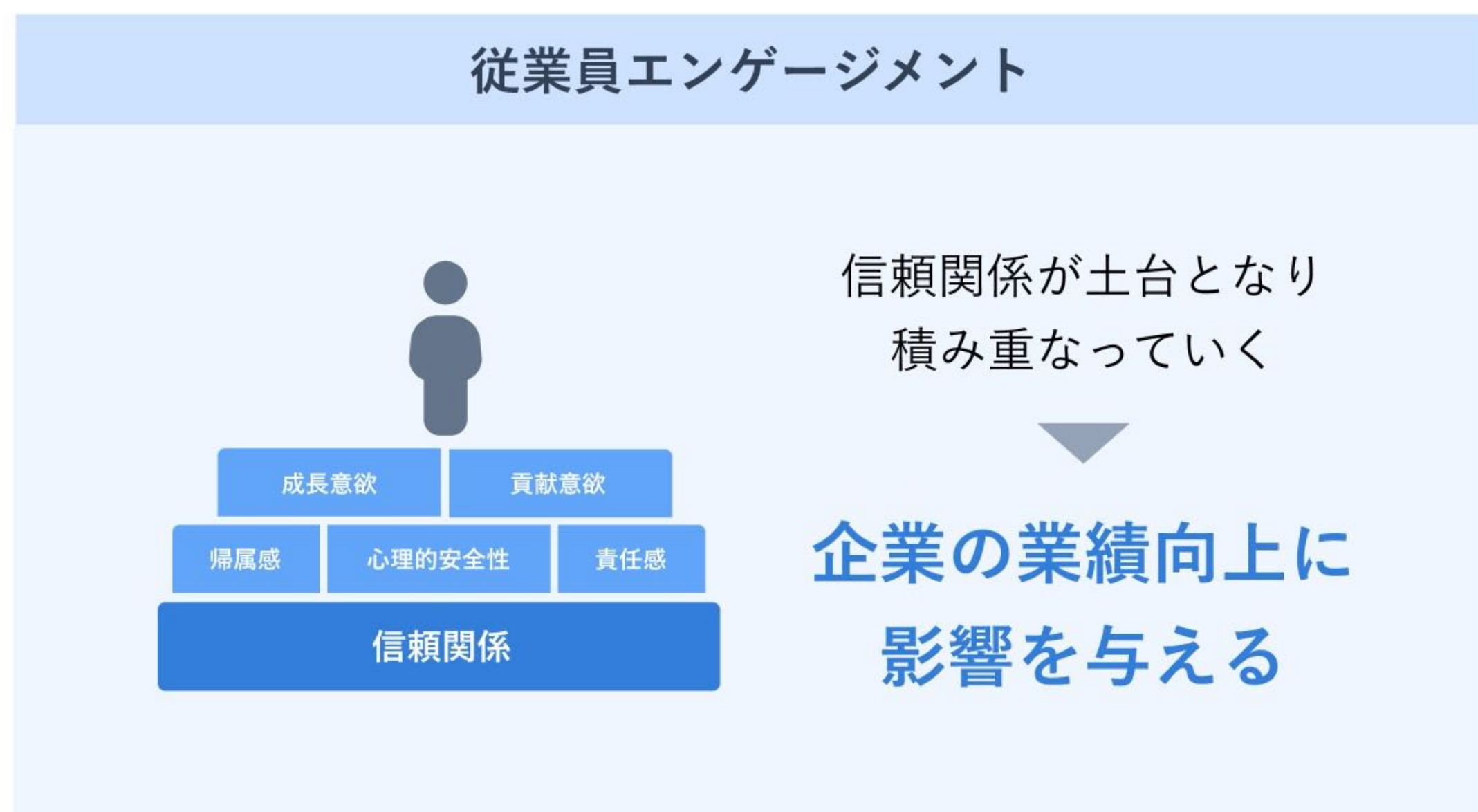
社名	株式会社スタメン
創業	2016年8月1日
所在地	名古屋本社：名古屋市中村区下広井町1-14-8
拠点	東京拠点：東京都千代田区神田錦町2-2-1
代表者	大西 泰平
従業員数	83名（2023年6月末時点の単体正社員数）
事業内容	エンゲージメント経営プラットフォーム「TUNAG」の企画・開発・運営 クラウドセキュリティサービス「漏洩チェッカー」の企画・開発・運営
グループ会社 (連結対象)	株式会社スタジアム 株式会社STAGE

会社名	主要なサービス名	概要
 stmn, inc. 株式会社スタメン		組織課題の改善に向けた施策の設計、分析画面を用いた改善活動まで、ワンストップで実施可能なプラットフォーム。
 STADIUM 株式会社スタジアム (グループ会社)		企業向けの従業員エンゲージメントサービスをBtoBtoC向けに拡張した、コミュニティのエンゲージメント向上を支援するSaaS型コミュニティ運営プラットフォーム。
 STAGE 株式会社STAGE (グループ会社)		エンゲージメントやカルチャーマッチを重視した、採用支援サービス。市場価値を高めるためのサポートや、入社後の定着フォローも実施。

「会社と従業員」および「従業員同士」の相互信頼関係のこと。
欧米では広く浸透した概念であり、数年前から日本国内でも認知が進み、
経営の重要指標として注目が高まっている。



「ウイリス・タワーズワトソン」「ギャラップ」などの世界的コンサル会社の調査・研究により、「企業の業績向上」との相関関係の有無が明らかにされている。



従業員エンゲージメントについて、調査や研究、実証実験を進める世界的なコンサルティング企業



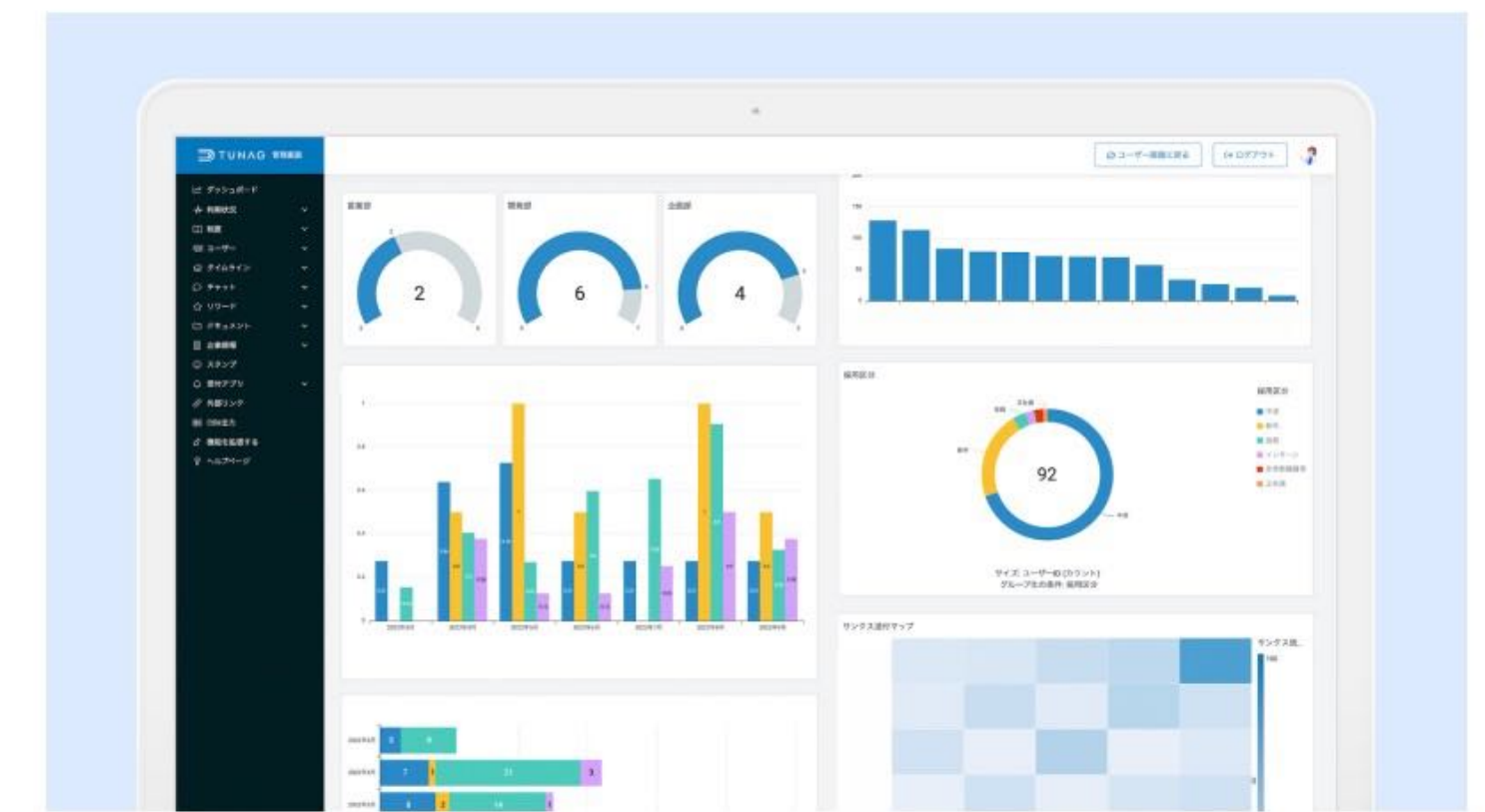
TUNAGは組織課題の改善に向けた施策の設計、プラットフォームを用いた実行、分析画面を用いた改善活動まで、ワンストップで実施可能。



組織課題に合わせた、
自社独自のエンゲージメント施策を設計



施策の効果を最大化するための
画面設計と機能



施策の運用状況や、
リアルタイムな組織状態を可視化

利用企業から月額利用料金と初期導入料金をいただくことで、安定した収益基盤を限界利益率の高い形で構築することができる。



目下の重点施策であるエンタープライズ向けの営業強化や、販売パートナーの拡大、株式会社以外へのターゲット拡張などが形になってきており、顧客基盤も着々と広がっている。

<p>大企業 (従業員数1,000名以上)</p>	
<p>中規模企業 (従業員数100~999名)</p>	
<p>少数精鋭企業 (従業員数~99名)</p>	



クローズドSNS

情報がリアルタイムに蓄積されていく、カスタマイズ性の高い社内SNS

- 社内制度の活用内容がタイムラインに流れ込み、制度の自走化を促す
- オリジナルスタンプや必読投稿、メンションコメントなどコミュニケーションを活性化させる豊富な機能群
- 社内ポータルとしても活用できる柔軟なカスタマイズ性が特徴



社内制度一覧

社内制度や福利厚生を一括で管理・運用できるプラットフォーム

- 社内制度をカテゴリ毎に整理したり、要件や項目を自在にカスタマイズできるTUNAGのメイン機能
- 申請や報告といった形でワークフローを設定したり、利用条件や公開条件を設定したり、利用履歴を蓄積したりと細かな設定が可能



組織サーベイ

組織のエンゲージメントスコアを即時調査、データで組織状態を見える化する診断機能

- 部署や役職毎など、組織に合わせてセグメントした分析が可能
- 経年比較や属性比較など、様々な角度から組織の状態変化を可視化
- 診断結果に合わせて、TUNAG上で改善施策を設計・運用することが可能
- 独自のカスタマイズ設問を追加することも可能



社内ポイント

制度に合わせて自在に設定し、柔軟なインセンティブ設計やゲーミフィケーションが可能なリワード機能

- 利用時にポイントを自由に付与したり消費したりと、柔軟なカスタマイズが可能
- ポイントの名称も自由に命名可能で、ポイントを社員同士が相互に送り合うことも可能



組織一覧

社内の組織ツリーを一覧で見える化でき、社員のプロフィール情報も一括管理できる人材DB

- 組織毎に担当上長や、組織の説明、構成メンバーなどを一覧で管理でき、会社の全体像が見える化
- プロフィール項目は自在にカスタマイズでき、制度の投稿内容と連動して自動更新をかけることも可能で、動的な人材DBの構築が可能



ビジネスチャット

情報セキュリティや組織ガバナンスに配慮した運用が可能なチャットコミュニケーション機能

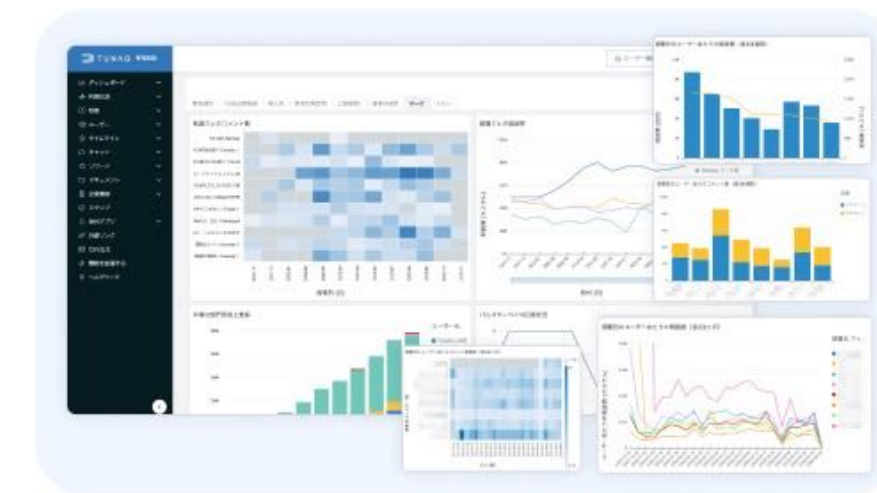
- 人材DBと連携してチャットルーム管理が可能
- 個別チャットやグループ作成などの可否が権限設定可能
- オリジナルスタンプにも対応
- チャットルーム毎にファイル管理機能も搭載



ワークフロー

申請・承認などの社内業務手続きを、部署や役職に合わせてスムーズに電子化する社内決裁機能

- 社内制度毎に自由に柔軟な電子決裁の導入が可能
- 決裁履歴は、検索機能でいつでも簡単に遡り、確認することができる
- 決裁者不在時のスキップ処理や、部署単位の決裁フローなども簡単に設定
- スマートフォンには決裁依頼の通知が飛ぶので、やり取りもスムーズ

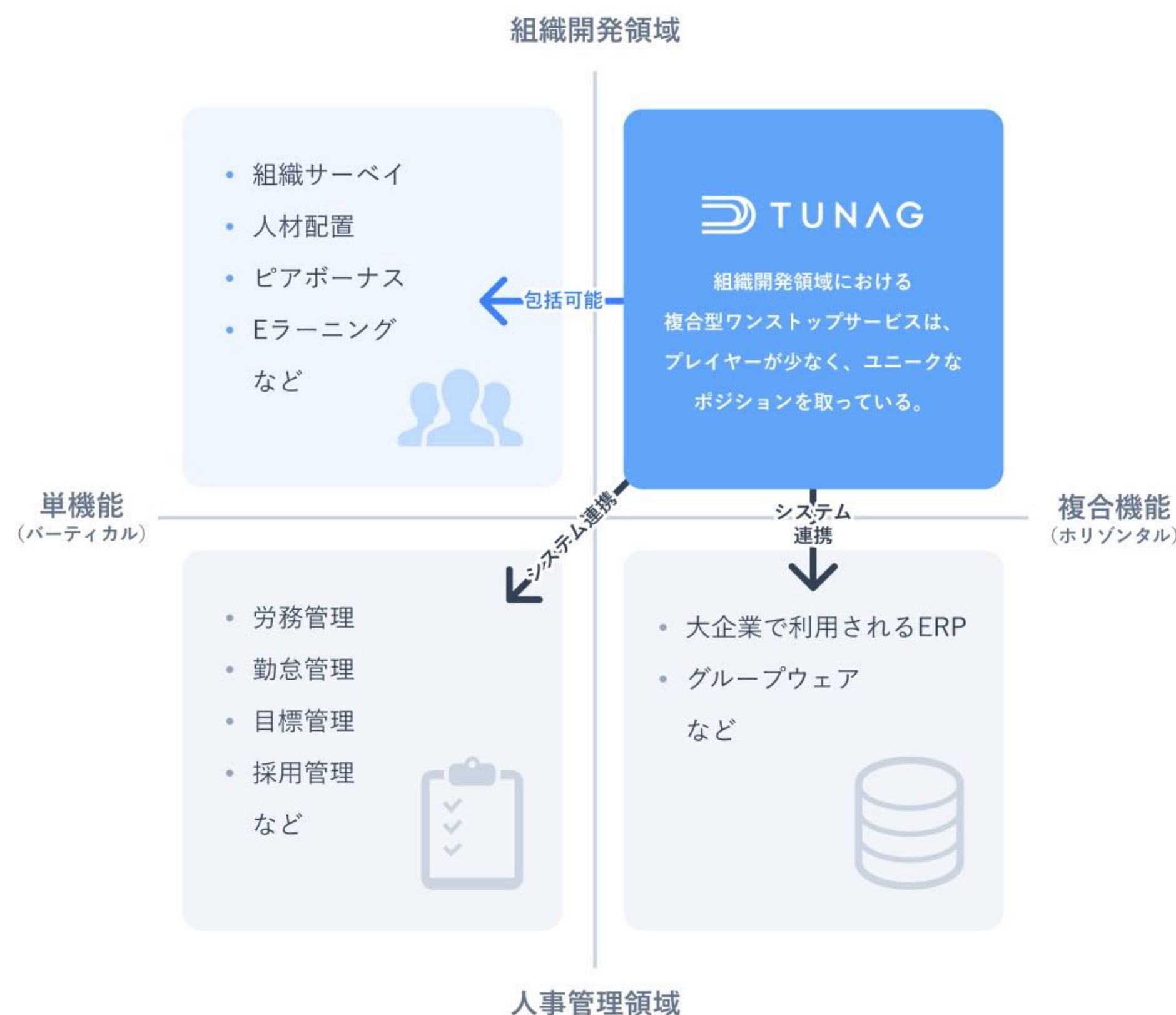


データ分析

社内の活性化状況や組織運営におけるアクションデータをワンタッチで確認できるダッシュボード機能

- ログイン率や制度利用率、コメント率といった各種指標が一目で確認可能
- 日次、週次、月次など期間や、部署、役職でセグメントした分析も簡単
- エンゲージメント向上において重要な企業毎のヘルススコアも算出
- 反響の大きい投稿やユーザーもランキング形式で把握ができる

市場創生期のマーケットでユニークなポジションを取っているため、
 直接競合する他プロダクトが非常に少なく、かつ、
 システム連携により既存ツールとバッティングせずに導入ができる。



「漏洩チェッカー」は、社用PCの管理・監視により社内情報を効率的に管理することで、IT資産管理、情報漏洩対策、労務管理などをサポートするクラウドセキュリティサービス。

使いたい機能を
必要な分だけ!

情報管理SaaS
漏洩チェッカー

USBドライブ監視

ハードウェア資産管理

ソフトウェア資産管理

スクリーン監視

Web閲覧・操作監視

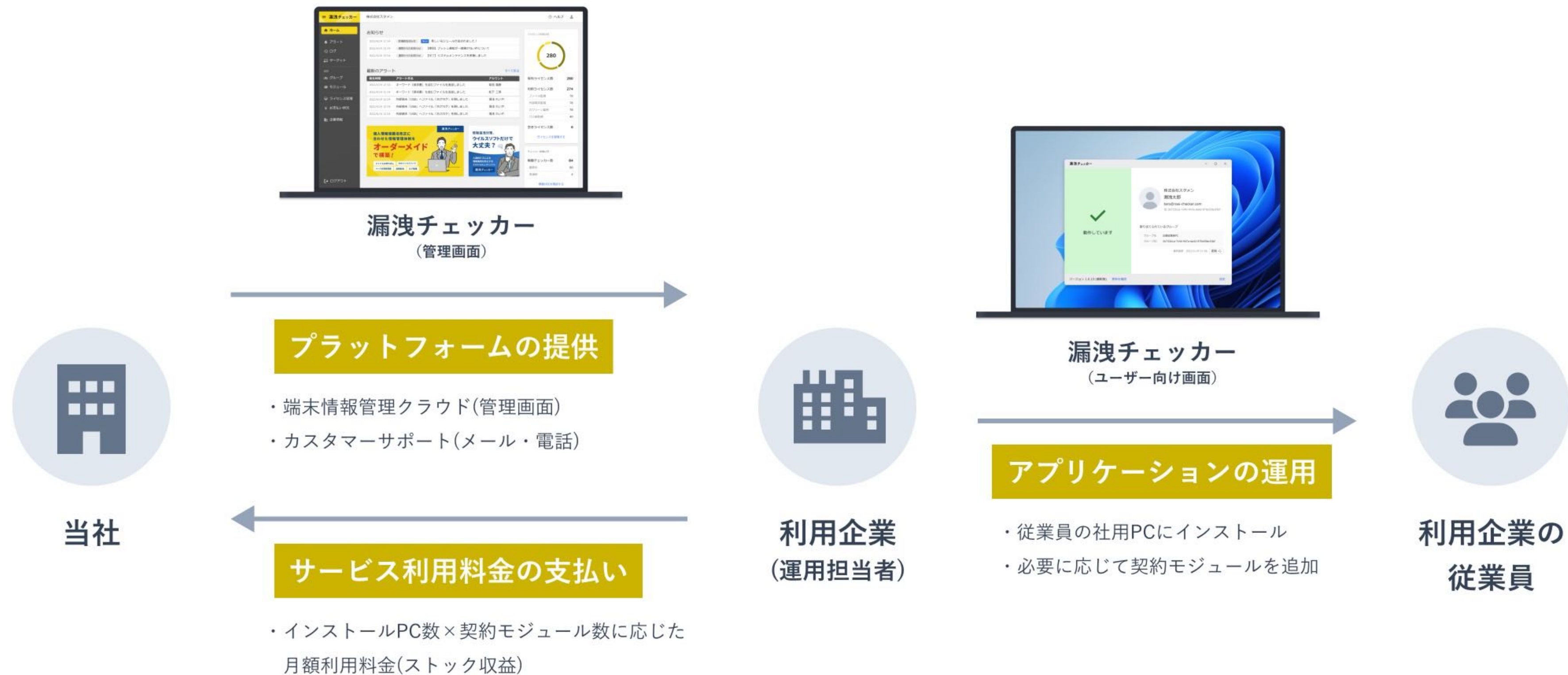
ログオン&ログオフ監視

発生時間	アラート名	アカウント
2022/6/24 12:54	キーワード「請求書」を含むファイルを追加しました	菊池 義博
2022/6/24 12:54	キーワード「請求書」を含むファイルを追加しました	松下 コウ
2022/6/24 12:54	外部端末「USB」へファイル「おがね」を削除しました	
2022/6/24 12:54	外部端末「USB」へファイル「おがね」を削除しました	
2022/6/24 12:54	外部端末「USB」へファイル「おがね」を削除しました	

ご利用まで、わずか3ステップ



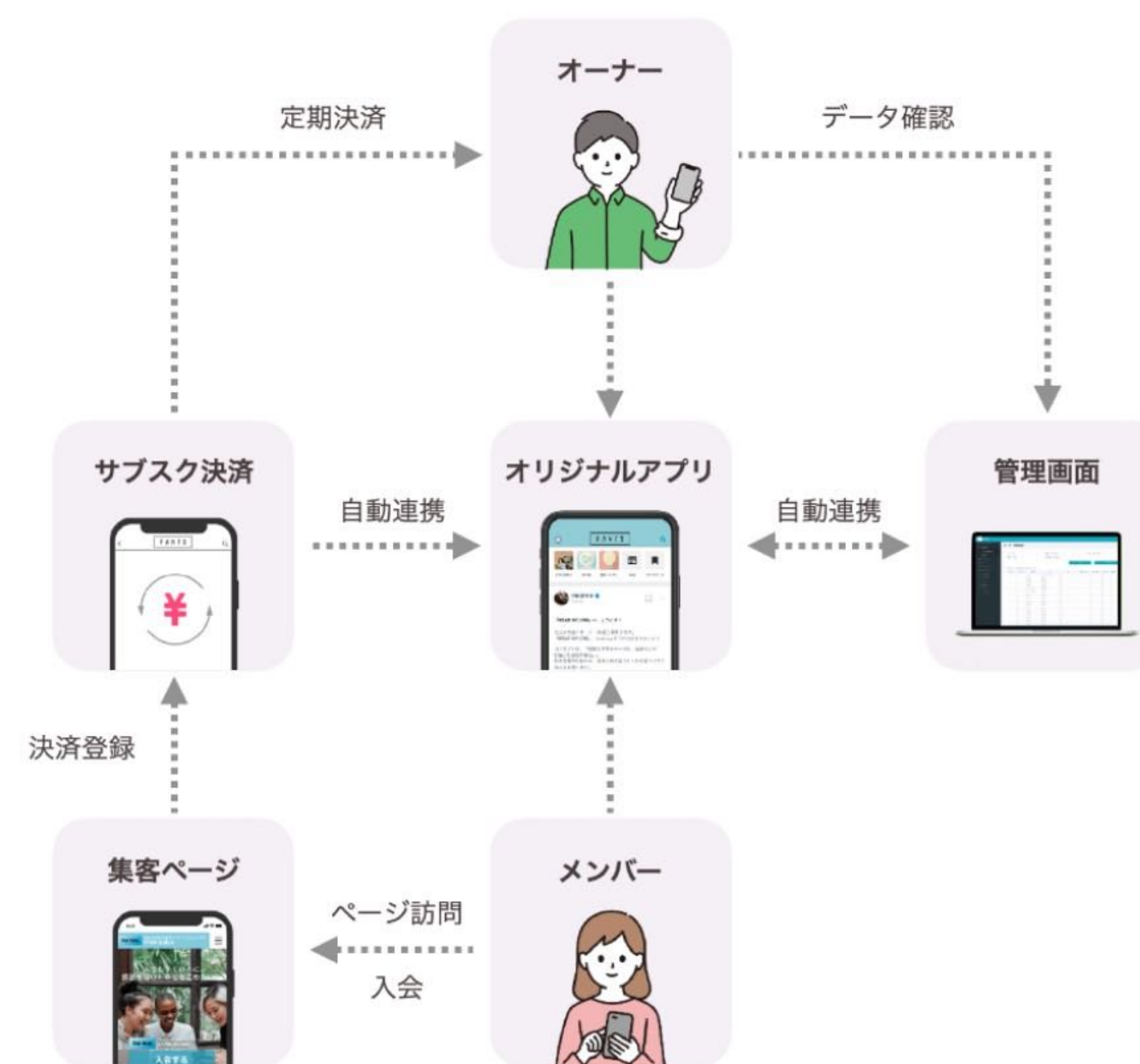
漏洩チェッカーをインストールしたPC端末の数と契約モジュール数に応じて課金するサブスクリプションモデル。アカウント開設～インストールまで利用企業内で完結でき、端末情報管理が最短即日で運用開始が可能。



「FANTS」は、企業向けの従業員エンゲージメントサービスをBtoBtoC向けに拡張した、コミュニティのエンゲージメント向上を支援するSaaS型コミュニティ運営プラットフォーム。



コミュニティ運営に必要な機能を、
ワンストップで提供

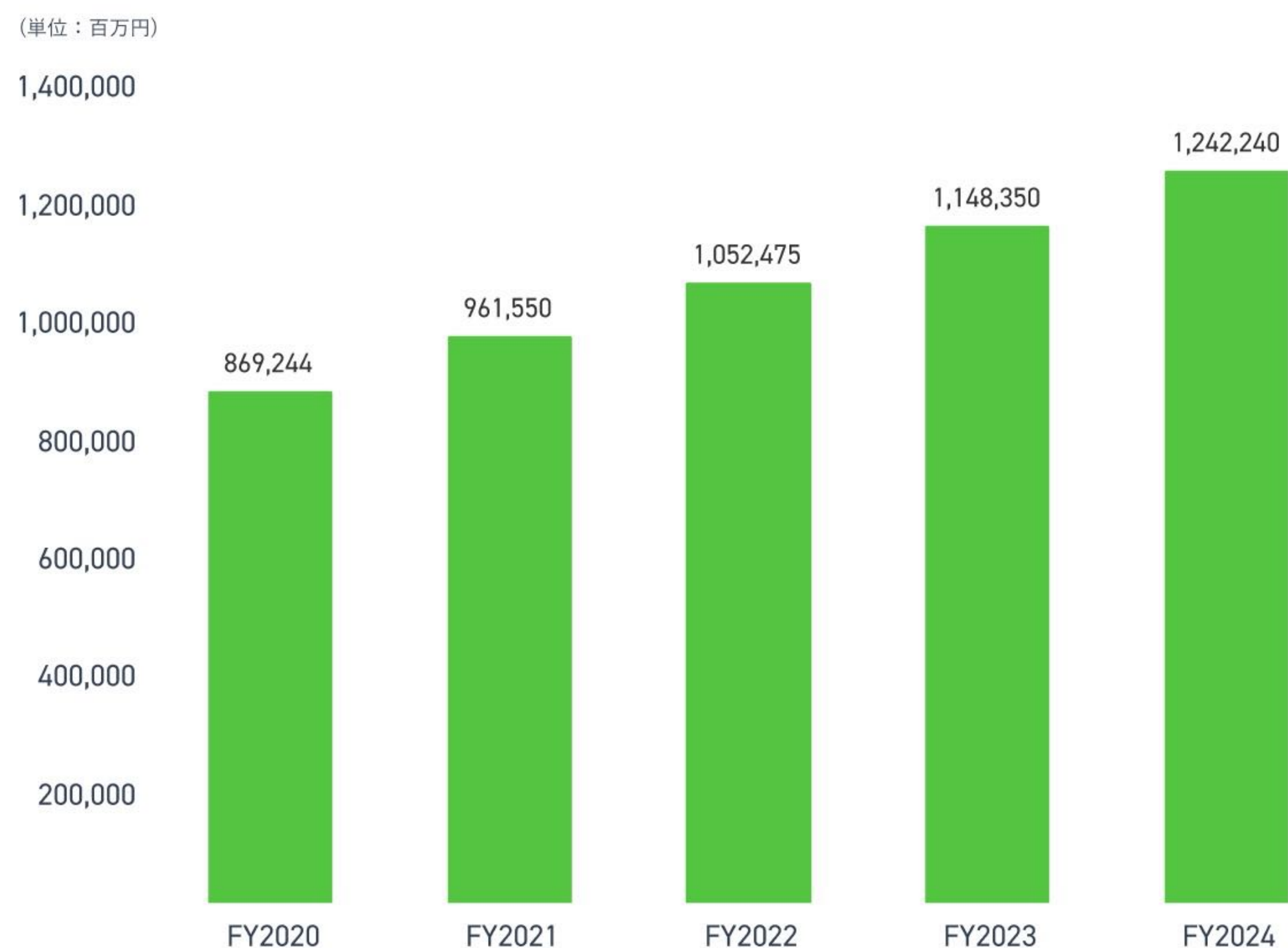


コミュニティが売り上げた運営収益から、
レベニューシェアでサービス利用料金をいただくBtoBtoC型のSaaSサービスとなっており、
運営コミュニティ件数と会員総数が当社収益と連動する。

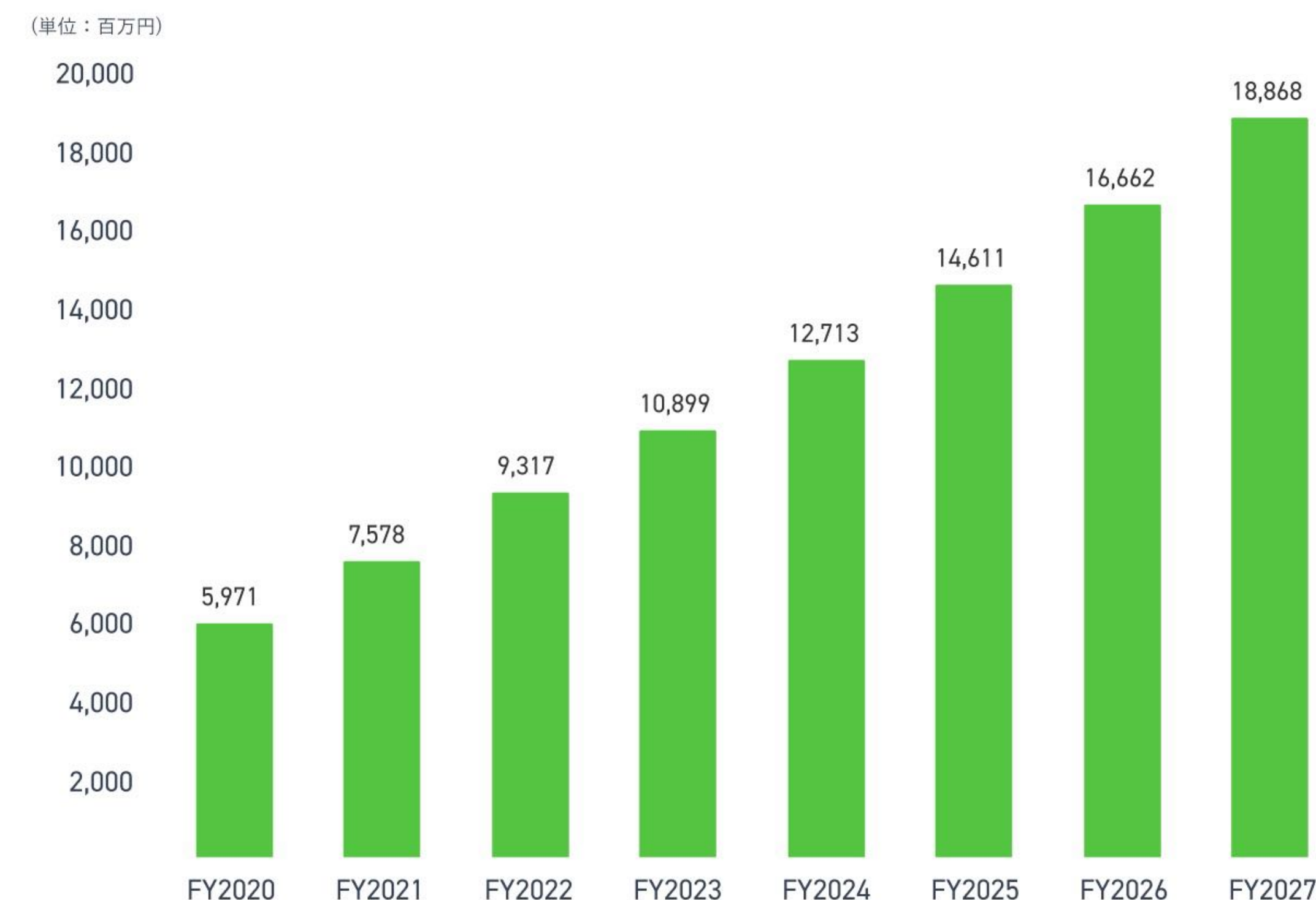


FANTSが対象とするサブスクサービスや、ソーシャルメディアマーケティングの市場は、いずれも高い成長性を示しており、事業の伸び代は非常に大きい。

サブスクリプションサービス国内市場規模予測



国内ソーシャルメディアマーケティング市場規模予想



プロスポーツチーム、ミュージシャンやアーティスト、タレントや著名人、レジャー施設、YouTuber、協同組合、一般企業、スクールや習い事など、幅広いカテゴリーでFANTSの運営コミュニティが拡大中。



レバンガ北海道『One Hoop』



田村 淳『大人の小学校』



王林『王林王国』



南知多ビーチランド『支援プロジェクト』



すみだ水族館『すみだペンギンファンクラブ』



木下レオン『Polaris』



京都信用金庫『まちごとオフィス』



MALIA『BELIEVE in yourself』



辻直人『#TEAMNAOTO』



寿商店『ファミリーサロン』



柴崎春通『ShibARTS』



JALまね『子ども倶楽部』

本資料に掲載する情報は、当社の財務情報、経営方針、経営指標等の提供を目的とし、細心の注意を払って掲載しておりますが、掲載情報の完全性・正確性・安全性・その他についていかなる表明並びに保証を行うものではありません。

本資料の掲載内容のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社または当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。また、今後の当社または当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。

本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

2018年12月期四半期会計期間及び2019年12月期四半期会計期間の財務数値については監査法人による監査を受けておりません。

20XX年12月期を「FY20XX」と記載し、四半期会計期間については「1Q～4Q」と記載しております。